

第49回北信越高等学校選抜卓球大会

兼令和3年度全国高等学校選抜卓球大会北信越予選会

- 1 主催 北信越卓球連盟
- 2 共催 北信越高等学校体育連盟 長野県高等学校体育連盟 長野県卓球連盟
長野県教育委員会 (公財)長野県スポーツ協会
- 3 後援 長野市教育委員会 長野市卓球協会 信濃毎日新聞社
- 4 主管 長野県卓球連盟 長野県高等学校体育連盟卓球専門部
- 5 期日 令和3年12月17日(金)～19日(日)
- 6 会場 ホワイトリング(長野市真島総合スポーツアリーナ)
〒381-2204 長野市真島町真島2268番地1
電話026-283-7977
- 7 種目 男女学校対抗 男女シングルス
- 8 日程 12月17日(金) 12:30～ 5県委員長会議-----体育指導員室
14:00～ 団体戦公開抽選会-----会議室2
14:30～ 監督会議-----会議室2
16:00～ 開会式(15:50観客席着席)
12月18日(土) 8:30～ 学校対抗 予選リーグ
代表決定トーナメント1回戦
男女シングルス 予選リーグ
12月19日(日) 8:30～ 学校対抗決勝トーナメント、
代表決定トーナメント
男女シングルス決勝トーナメント
13:00～ 閉会式

9 競技方法

(1) 学校対抗

- ① A・B・C・Dブロックによる予選リーグの後、1位上げ決勝トーナメント方式で行う。
さらに、各ブロック2位による代表決定トーナメントを行う。
(男子は代表決定トーナメントの最上位が第5代表。代表決定トーナメント2位と第5代表に負けたチームとが第6代表決定戦を行う。女子は代表決定トーナメントの最上位が第5代表)
- ② 学校対抗の選手は4～7名とする。
- ③ 学校対抗は次の順序による5試合で3点先取とする。(S-シングルス D-ダブルス)
1-S 2-S 3-D 4-S 5-S
3番のダブルスは、1番・2番のシングルスに出場した選手同士で組むことはできない。シングルスは、すべて異なる選手とする。
- ④ 予選リーグは1コートを使用し、進行状況により2コートを同時使用する。決勝トーナメントおよび代表決定トーナメントは2コートを同時使用する。

(2) シングルス

- ① 予選A～Dブロックリーグ、2位上げ決勝トーナメント方式で行う。
- ② 予選リーグ戦は、各リーグで試合のない選手が主審とし、決勝トーナメントは正・副ともに地元審判員とする。

10 **参加制限** 学校対抗 開催県男女4校 他4県男女各3校
シングルス 各県男女各4名

※シングルス出場選手の資格

学校対抗で本大会に出場しない学校から各1名とし、本年度の全国選抜大会に出場しない者に限る。また、以下の大会にエントリーした者も除く。

- ・全日本選手権（一般・ジュニア）のシングルス・ダブルス
- ・全国高校総体、全国選抜大会、国民体育大会（ブロック大会含む）
- ・北信越高等学校体育大会（卓球競技）、北信越高等学校選抜卓球大会

11 **参加資格**

- (1) 各県高体連加盟校の生徒で、今年度（公財）日本卓球協会の登録を済ませている者であること。
- (2) 2004年（平成16年）4月2日以降に生まれた高校2年生以下の者で、同一学年での出場は1回限り、通算出場は2回までとする。
- (3) 一家転住等のやむをえない理由で、当該県高体連会長が認めた場合を除き、過去6ヶ月引き続き同一校に在学する生徒であること。
- (4) 全日制・定時制・通信制等の混成チームは認めない。
- (5) 選手は、健康診断を受け、学校長の承認を受けた健康な者に限る。
- (6) 参加資格の特例については、全国高校総体開催基準要項「12-（8）」並びに「大会参加資格の別途に定める規定」に準ずる。
- (7) 一定期間査証を取得（更新）し、卒業を目的に日本の学校に在学する外国籍選手は、学校対抗には2名までエントリーできるが、1試合につき1名が1回（8. 競技方法の項参照）しか出場できない。
- (8) その他は、当該年度の全国高等学校総合体育大会卓球競技に準ずる。

12 **競技規定**

- (1) 現行の日本卓球ルールと以下の規定を適用する。
- (2) 選手は、（公財）日本卓球協会発行の令和3年度ゼッケンを背中につけること。
ベンチ入りする監督については、役職者章（（公財）日本卓球協会発行の令和3年度役職者章）を左袖につけること。
- (3) 競技用ユニフォームは、（公財）日本卓球協会公認マークのついたものとし、明らかに異なった色のものを2着以上持参すること。
- (4) 男女シングルス（2部）のアドバイザーのベンチ入りを以下の条件で認める。
 - ①アドバイザーは1名とする。
 - ②アドバイザーの資格は、大会申込時にエントリーされた当該校の監督・選手に限る。
 - ③アドバイザーは試合開始時に選手と共に入場する。試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。
- (5) タイムアウト制は、学校対抗におけるすべての試合および男女シングルス（2部）決勝トーナメントにおいて適用する。
- (6) 部旗の掲示は、200cm（ヨコ）×150cm（タテ）以内のものを1校1枚とする。
- (7) （公財）日本卓球協会が揮発性の有機溶剤を含まない接着剤として公認した接着剤は、大会会場の別に指定された場所で使用すること。

13 **使用球** 使用球 下記のTSP・ニッター・タマスの公認球（40mmの白球）を使用する。

VICTAS：VP40+3スター

ニッター：プラスリースタープレミアム

タマス：バタフライ スリースターボールR40+

14 参加料 学校対抗1チーム 20,000円 シングルス 2,000円

15 申込方法

- (1) 各校は以下のものを、各県の指定日までに各県委員長へ申し込む。
ア、大会参加申込書 イ、参加料 ウ、宿泊申込書（事務局提出用）
- (2) 各県委員長は（1）に「参加申込一覧表」を添えて書留郵便で開催県事務局まで送付すること。なお、参加料については、指定口座に振り込むこと。

16 申込締切

各県の予選が終了次第、下記の〆切を厳守して関係書類・参加料等を申し込むこと。

申込〆切	
各県委員長宛締切	11月16日（火）必着
主管県宛締切	11月19日（金）必着

17 申込先・振込先

(1) 郵送先

学校長職印等の押された正式な申込み関係書類は、下記まで書留速達郵便で郵送すること。

郵送先
〒390-8525 長野県松本市筑摩4-11-1
長野県松本工業高等学校内
長野県高体連卓球専門部 井出 史憲 宛
Tel 0263-25-1184 Fax 0263-27-6170

(2) 電子メールによる事前連絡について

14 申込方法の申込書類のうちの「参加申込一覧表等」については、県大会予選終了後参加選手が確定した時点で、事前に電子メールで下記あて送付すること。

送信先
Email : idecchi@m.nagano-c.ed.jp 井出 史憲

(3) 参加料の振込先

参加料は口座振り込みとする。（振込手数料は各県負担）

指定口座
八十二銀行 川中島支店 普通口座482917
長野県高体連卓球専門部 会計 河野 直

18 宿泊

- (1) 各県参加者は、別紙「宿泊申込書」に必要事項を記入し、各県委員長宛に申込みこと。緊急連絡等の大会運営上、参加者は必ず委員長を通して、宿泊申込を行うこと。
- (2) 宿泊料は以下の通りとする。
1泊2食11,000円(税込) 昼食弁当代880円(税込)

19 その他

- (1) 本大会上位男子6校および女子5校は、令和4年3月(18日から21日)に栃木県日環アリーナ栃木で開催される第49回全国高等学校選抜卓球大会に推薦される。
- (2) 申し込み後の変更は、原則として認めない。学校対抗の選手変更を希望する場合は、委員長会議開始(12:30)までに、学校長名・捺印による「選手変更届」を、各県委員長に提出すること。
- (3) 棄権する場合は、委員長会議前に学校長名の理由書を提出する。不可抗力以外で無断棄権した場合は、次の出場を禁止する。
- (4) 学校対抗の参加校は1名の帯同審判員を同行させ、申込用紙に帯同審判員名を記入すること。ただし、やむを得ない場合は、登録選手と重複してよい。また、帯同審判員の資格については「8 参加資格」に準じる。
- (5) 参加選手は公認審判員の資格を取得していること。
- (6) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員または校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条第2項に示された者)とする。監督は、学校長が認める指導者とし、外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ・安全保険等)に必ず加入し、その写しを参加申込書とともに主管県に送付すること。
- (7) 本大会は原則無観客とする。
- (8) 部旗等は、全国統一見解の200cm×150cm以内で1枚とする。
- (9) 12月17日(金)は11:00~15:00の時間のみ、大会会場での練習を認める。
- (10) 斡旋された宿舍を勝手に変更したり取り消したりしないこと。
- (11) 昼食弁当の配布等については監督会議の席上で詳細を説明するので、指示に従うこと。
- (12) 会場でのゴミは、各校が責任をもって持ち帰ること。
- (13) 監督・役員等の懇親会兼夕食会は中止とする。